

APPLICATION GUIDE FOR INTERNATIONAL STUDENTS

外国人留学生 募集要項 | 2024

Fashion Creation Department

Fashion Technology Department

Fashion Marketing and Distribution Department

Fashion Accessories and Textiles Department

Contents

	ページ数
1. 募集学科／2. 出願資格	01
3. 出願から入学までの流れ	02
4. 出願方法、試験日程、受験料など	03
5. 出願書類	04
6. 新入学各科学費他一覧表(2024年度)	06
7. 奨学金案内	08
8. 在留資格について／9. 就学期間中の注意事項	09
10. 「専門士」および就労ビザに関する注意事項／11. お問い合わせ ...	10
所在地	11

1 募集学科（新入学科のみ）

課 程	学 科 名	修業年限	備 考
服 飾 専門課程	服 装 科	2	大学・短大卒業（見込み）者およびそれに準ずると本学が認める者のみ対象。 不明な点がある場合は、事前にお問い合わせください。
	服 飾 研 究 科	1	
ファッション 工科専門課程	ファッション高度専門士科	4	2年次からはアパレルデザイン科、アパレル技術科、インダストリアルマーチャングデザイン科、ニットデザイン科へ進級します。 ファッション工科基礎科修了時に成績および本人の希望を以て決定します。 3年次からは、アパレルデザイン科の中にメンズデザインコース、アパレル技術科の中にバーチャルファッションコースを設けています。
	ファッション工科基礎科	3	
ファッション 流通専門課程	ファッション流通高度専門士科	4	2年次からは、スタイリストコース、ショップスタイリストコース、リテールプランニングコース、ファッションプロモーションコース、ファッションモデルコースへ進級します。ファッション流通科1年修了時に成績および本人の希望を以て決定します。
	ファッション流通科	2	
ファッション 工芸専門課程	ファッションテキスタイル科	3	
	帽 子 デ ザ イ ン 科	2	
	ジュエリーデザイン科	2	
	バ ッ グ デ ザ イ ン 科	2	
	シ ュ ー ズ デ ザ イ ン 科	2	

2 出願資格

- (1) 在留資格「留学」を有する方または取得できる見込みの方。「留学」の在留資格取得見込みで出願した方は、入学手続後、すみやかに「留学」の在留資格に切り替えてください。
- (2) 日本国以外の国籍を持つ方。
- (3) ①正規の学校教育における12年目の課程を修了した方および2024年3月31日までに修了見込みの方。
②①に準ずる方で、文部科学大臣により大学入学資格が認められている方。
*②に該当するかどうかは出願前に問い合わせてください。
- (4) 法務大臣が告示で定める日本語教育機関での学習歴がある場合、出席率が80%以上*ある方。
*出席時間数の出席率が80%以上であること。
*短期滞在、特定活動の在留資格で就学した期間の出席率は含めない。
- (5) 授業を理解するだけの日本語力があり、2024年3月31日までに下記①～⑤のいずれかを満たす方。
ただし、「留学」の在留資格で日本に滞在していない場合は、出願時点で下記①～⑤のいずれかを満たしていることが必要です。
 - ①財団法人日本国際教育支援協会および国際交流基金が実施する「日本語能力試験」(JLPT) のN2もしくは2級以上に合格している方。
 - ②2022年4月以降に、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(EJU) (日本語科目) で200点以上を取得している方。
 - ③財団法人日本漢字能力検定協会が実施する「BJTビジネス日本語能力テスト」で400点以上を取得している方。
 - ④法務大臣が告示で定める日本語教育機関で6ヶ月以上*の日本語教育を受けた方。
*短期滞在、特定活動の在留資格で就学した期間は含めない。
 - ⑤学校教育法第1条*に定める学校において1年以上教育を受けた方。
*日本の小学校、中学校、高等学校、大学および短大(大学・短大の日本語別科含む)のことを指し、幼稚園は除きます。
- (6) 在学中の学費、生活費等の費用が用意できる方。

3 | 出願から入学までの流れ

出 願

直接、出願書類を文化服装学院 学務部学生課へ提出。
受験料 33,000円を支払い、当日に受験票を発行します。
出願書類に不備がある場合は受付できません。

試 験

- (1) 日本語試験 筆記+作文(400字程度) 70分、聴解 20分
 - (2) 面接
- * 日本語能力試験N2程度

合否発表

合否の結果は、合否通知発送日に速達で通知します。
電話や訪問などによる問い合わせには応じられません。

学費納入

学費を納入することにより、入学手続きが完了します。
合格通知書の指定期日までに、所定の銀行振込用紙を用いて納入してください。
ATMを使用しての学費振込は確認ができない場合があるので、必ず所定の銀行振込用紙を使用し、銀行の窓口で手続きをしてください。
振込銀行の収納印をもって領収書に代え、改めて本学院から領収書は発行しませんので、大切に保管してください。

入学手続き

入学手続き

第1期合格者は2024年1月上旬
第2期合格者は2024年1月中旬
第3期合格者は2024年2月下旬に入学許可証を郵送します。
2024年2月末～3月上旬に「入学式のご案内」を郵送します。

入 学

入学式 2024年4月6日(土)
始業式 2024年4月8日(月)

4 | 出願方法、試験日程、受験料など

受験料：33,000円

出願場所：直接、文化服装学院 学務部学生課へ提出

* 郵送受付不可。

受付時間：10:00～12:00

13:30～16:00

* 土日祝日は受付できません。

	願書受付期間	試験日程	可否通知発送日	学費納入期限
第1期	2023年 10月2日(月)～10月13日(金)	2023年 11月11日(土)	2023年 11月20日(月)	2023年 12月11日(月)
第2期	2023年 11月13日(月)～11月24日(金)	2023年 12月2日(土)	2023年 12月11日(月)	2024年 1月12日(金)
第3期	2024年 1月9日(火)～1月17日(水)	2024年 1月27日(土)	2024年 2月5日(月)	2024年 2月23日(金)

* その年の10月期より日本語学校に入学した方は第1期出願不可。(出席率の算出が出来ないため。)

* 第3期に出願する場合は、在留資格取得の関係から、原則、「留学」の在留資格で日本国内に在住している方に限ります。その他の在留資格の方は、10月上旬までに本学へご相談ください。

(注)

- ①出願書類に不備がある場合は受付できません。
- ②国外から出願する場合は、代わりに緊急連絡先とした方*が出願することもできます。
*緊急連絡先に署名をした方に限ります。知人・友人の代理出願は認められません。
- ③台湾、韓国、タイ在住者に限り、台北、ソウル、バンコクの文化学園事務所へ出願することができます。
(連絡先は10ページをご覧ください。)
- ④在留資格や在留状況によっては、受付できないことがあります。
- ⑤文化学園各校の卒業生および卒業見込み者については、受験料及び入学金が減免されます。
(文化学園各校卒業後、他校に進学した場合も申請可能)
減免制度の利用を希望する場合は、以下の証明書を出願時に提出してください。
出願時に証明書の提出がない場合は、減免対象者であっても、減免制度の利用ができません。

・文化学園大学(旧：文化女子大学) 卒業生・卒業見込み者

減免内容：受験料および入学金を所定の半額とする。

提出書類：文化学園大学(文化女子大学) 卒業証明書もしくは卒業見込証明書

文化学園大学(文化女子大学) 成績証明書

・文化外国語専門学校 卒業(修了)者・卒業(修了)見込み者

減免内容：受験料を所定の半額とする。

入学金を、所定の金額から文化外国語専門学校入学時に支払った入学金の金額を差し引いた額とする。

提出書類：文化外国語専門学校 出席・成績証明書

* 文化服装学院卒業生が再度本学院へ入学する場合の手続きは、本入学試験とは別に定めがあります。

希望者は11月中旬に問い合わせをし、手続き方法を確認してください。

5 | 出願書類

《出願上の注意》

- 書類の不備があった場合は出願受付できません。
 - 出願後の志望学科の変更はできません。
 - 一度提出した出願書類は、原則として返還しません。
 - 出願書類は黒いボールペン(消えないボールペン)で強く記入し、フリガナはカタカナで記入してください。
 - 書き間違えた箇所は、修正液を使用してください。
 - 出願書類の内容に偽造・虚偽記載等があった場合は不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。
- なお、その場合も提出した出願書類および受験料は返還しません。

出願書類等	摘 要
① 入学願書 本学所定	写真は縦3.5×横3cmの正面上半身無帽の写真を貼付してください。 写真の裏に「志望科」と「英字氏名」を記入してください。
② 緊急連絡先 本学所定	学業や健康などに問題が起きたときに緊急に連絡します。 学校とともによい方向に解決できるよう協力していただける方を選任してください。 学校に在学中の方は緊急連絡先になれませんのでご注意ください。
③ 経費支弁書 本学所定	本学在学中の学費ならびに必要な経費を負担する方を選任してください。
④ 経費支弁能力を証明する書類 収入証明書と預金残高証明書 (原本)	経費支弁者の収入証明書と預金残高証明書の2点を提出してください。 6ヵ月以内に発行されたものを提出してください。 原本(コピー不可)を提出してください。 英語以外の外国語で作成されている場合は日本語の翻訳を添付してください。 翻訳には翻訳者の氏名・連絡先・作成日を記入してください。
⑤ 住所シール 4枚 本学所定	合否通知および入学手続書類等を受け取るための住所・氏名を4枚すべてに記入。 出願後、引っ越しをする場合には、引っ越し先の住所をお知らせください。
⑥ 最終出身校が中国以外の学校の方 最終出身校の卒業証明書と 成績証明書(原本)	☒ 原本(コピー不可)を提出とのこと。 ☒ 日本語または英語で記載されたものを提出してください。 ☒ 記載の氏名がパスポートと同一であること、氏名変更した場合はそのことを証明する公的な資料を添付のこと。 ☒ 日本語または英語以外の言語で作成されたものを提出する場合 日本語の翻訳を添付してください。 翻訳には、翻訳者の氏名・連絡先・作成日を記入してください。 また、その内容が原本と相違ないことを卒業した学校、または大使館や総領事館等に証明してもらい、その証明書も提出してください。 原本・翻訳・翻訳証明の3点を提出してください。 ☒ 証明書の原本が提出できない場合 証明書や卒業証書等をコピーし、そのコピーが原本と相違ないことを卒業した学校、または大使館や総領事館等の公的機関で証明してもらった書類【Certified true copy】を提出してください。
最終出身校が中国の学校の方 CHSI 認証報告書(英語)	最終出身校が中国の学校の方はCHSI中国高等教育学生信息网(学信网)で発行される認証報告書を提出してください。 ☒ 電子認証の場合はプリントアウトしたものを提出してください。 ☒ 英語の認証報告書を提出してください。 ☒ 大学を卒業の場合 ⇒ 学歴認証書と成績認証書 ☒ 普通高級中学卒の場合 ⇒ 普通高級中学卒業認証書と高考成绩認証書または会考試験成績認証書 ☒ 中等職業学校卒の場合 ⇒ 卒業した学校で発行した卒業証明書と成績証明書(日本語または英語)

	中国高等教育学生信息网 (学信网)QR  CHSI中国學歷・学籍認証センター 日本代理機構QR  ※発行されるまで1週間～3ヵ月かかります。早めに準備を開始してください。 ※3ヵ月経過しても発行されない場合はCHSIにご確認ください。 ※会考試験成績認証書は中国高等教育学生信息网(学信网)でのみ発行可能です。
⑦ <<就学歴がある場合>> 日本語教育機関の出席・成績証明書 及び在籍証明書等(原本)	☒出席・成績証明書 日本語教育機関に在籍中の方は、在籍するすべての期間(出願直前の最新状況まで)について、出席状況(時間数による出席率を明記すること)と成績の両方が記載されているものを提出してください。 日本語教育機関を卒業した方は、在籍したすべての期間について、出席状況(時間数による出席率を明記すること)と成績の両方が記載されているものを提出してください。 学校教育12年間の課程を修了していない場合は、進学準備教育課程に在籍していることが分かる証明書もあわせて提出してください。 ☒在籍証明書・卒業(見込み)証明書・休学証明書・退学証明書 等 入学年月、および卒業(見込)年月が記載されているものを提出してください。
⑧ <<取得者のみ>> 日本語能力を証明する書類	下記資料を提出してください。(コピーの提出でも可) ☒日本語能力試験(JLPT) N2もしくは2級以上合格結果通知書もしくは認定証 ☒日本留学試験日本語科目(EJU) 200点以上成績確認書(2年以内に取得) ☒BJT ビジネス日本語能力テスト 400点以上の成績認定書
⑨ <<日本での就学歴がある場合>> 日本の学校の成績・出席証明書 及び在学証明書等(原本)	日本の小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学等での就学歴がある場合のみ、提出してください。休学中および退学した学校の証明書も提出してください。 複数ある場合は全て提出してください。 ☒成績・出席証明書(小・中学校は不要) ☒卒業証明書・在学証明書・休学証明書・退学証明書 等
⑩ (1)パスポート(原本) (2)パスポートのコピー (3)在留カードのコピー	(1)本人確認のため持参してください。 (2)身分事項のページ及び追記欄に記載があるパスポートについては追記欄ページをコピーしたものを提出してください。 (3)在留カードの表・裏 両面をコピーしたものを提出してください。 日本国外在住者は不要です。
⑪ 国民健康保険証	出願時に提示してください。日本国外在住者は不要です。
⑫ 入寮申込書	LIFE STYLE GUIDE 2024添付のもの。 入寮希望者のみ提出してください。

新入生初年度学費

表1

(単位=円)

学 費 学 科	修学 年数	入学金 (※1)	前期授業料 (※2)	教育 充実費 (※3)	学友会費 (※4)	防災 用品費 (※5)	入学時 納入金計 (※6)	後期 学費計 (※2)	1 年間の 合計
服装科	2 年	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
服飾研究科 (※7)	1 年	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
ファッション 高度専門士科	4 年	300,000	400,000	360,000	4,500	5,900	1,070,400	400,000	1,470,400
ファッション 工科基礎科	3 年	300,000	360,000	360,000	4,500	5,900	1,030,400	360,000	1,390,400
ファッション流通 高度専門士科 (※8)	4 年	300,000	400,000	360,000	4,500	5,900	1,070,400	400,000	1,470,400
ファッション 流通科	2 年	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
ファッション テキスタイル科	3 年	300,000	360,000	360,000	4,500	5,900	1,030,400	360,000	1,390,400
帽子デザイン科	2 年	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
ジュエリー デザイン科	2 年	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
バッグ デザイン科	2 年	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
シューズ デザイン科	2 年	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400

※1) 入学金は入学手続き時に納入する。

※2) 授業料は前期（入学手続き時）と後期（9月）の年2回納入する。

※3) 教育充実費は年額を示す。実験実習、教材、施設維持にあてる。

※4) 学友会費は学生の学友会活動の費用にあてる。

※5) 防災用品費は入学手続き時のみ納入する。

※6) 納入期限日は出願時期により異なるので、2ページ学費納入期限参照。

※7) 服飾研究科は後期にすみれ会費 10,000 円を要する。卒業後は卒業生の会「すみれ会」の会員となる。

※8) ファッション流通高度専門士科3年次では海外研修が実施されるため、3年次の教育充実費は ¥660,000 とする。

(注) 学則により、学費は社会的、経済的情勢に応じて年度毎に変更することがある。

納入した選考料・受験料・学費は原則として返金しない。

ただし、入学取りやめの場合は、2024年度入学式前日（2024年4月5日（金））までに本学所定の書類にて入学取りやめの申請が完了している場合のみ、入学金以外の学費を返金する。

学費（表1）以外に入学後に要する経費

1. 学用品代（表2）を納める。学用品セットとは授業で必要な製図、縫製、デザイン画などの用具類。学科・学年によって異なる。
2. 課題製作のための材料費は各自の負担となる。（年間数万円程度、個人差がある）
3. 課題製作のために必要な機器類（ミシン、アイロン、PC等）は学科により異なる

表2

(単位=円)

	学科	学用品代(税込)
服づくり系 学科	服装科	151,687
	服飾研究科	119,804
	ファッション高度専門士科	154,635
	ファッション工科基礎科	151,753
	ファッションテキスタイル科	103,609
教科書各種、裁縫道具、製図道具、デザイン画画材など		
流通系学科	ファッション流通高度専門士科	62,328
	ファッション流通科	87,670
教科書各種、色彩教材、デザイン画画材、ファッション辞典など		
工芸系学科	帽子デザイン科	91,645
	ジュエリーデザイン科	88,431
	バッグデザイン科	69,430
	シューズデザイン科	92,501
教科書各種、参考書、色彩教材、道具各種(学科により異なる)		

学用品代は2023年度の実績。年度により金額の変動がある。

学用品代明細と納付書類一式を2月下旬ごろ入学手続き者に送付し、3月中旬までに納入する。

2年次以降の1年間の学費（2024年度入学者）

（単位＝円）

学 費 学 科	対象学年	前期授業料 （※ 9）	教育充実費 （※ 3）	学友会費 （※ 4）	前期学費計 （4 月）	後期学費計 （9 月） （※ 9）	1 年間の 合計
服装科	2 年生	360,000	360,000	4,500	724,500	360,000	1,084,500
ファッション 高度専門士科	2 ～ 4 年生	400,000	360,000	4,500	764,500	400,000	1,164,500
ファッション工科 基礎科上級学科	2・3 年生	360,000	360,000	4,500	724,500	360,000	1,084,500
ファッション流通 高度専門士科（※ 8）	2・4 年生	400,000	360,000	4,500	764,500	400,000	1,164,500
	3 年生	400,000	660,000	4,500	1,064,500	400,000	1,464,500
ファッション 流通科 2 年次各科	2 年生	360,000	360,000	4,500	724,500	360,000	1,084,500
ファッション テキスタイル科	2・3 年生	360,000	360,000	4,500	724,500	360,000	1,084,500
帽子デザイン科	2 年生	360,000	360,000	4,500	724,500	360,000	1,084,500
ジュエリー デザイン科	2 年生	360,000	360,000	4,500	724,500	360,000	1,084,500
バッグデザイン科	2 年生	360,000	360,000	4,500	724,500	360,000	1,084,500
シューズ デザイン科	2 年生	360,000	360,000	4,500	724,500	360,000	1,084,500

※ 8）ファッション流通高度専門士科 3 年次では海外研修が実施されるため、3 年次の教育充実費は¥660,000 とする。

※ 9）授業料は前期（4 月）と後期（9 月）の年 2 回納入する。

< すみれ会費 > 卒業年次後期にすみれ会費 10,000 円を要する。卒業後は卒業生の会「すみれ会」の会員となる。

対象学科卒業後進学科の学費

進学は修了時の成績及び適性試験等による選考を経て決定する

（単位＝円）

学 費 学 科	修学年数	進学金 （※ 10）	前期授業料 （※ 9）	教育充実費 （※ 3）	学友会費 （※ 4）	前期学費計 （4 月）	後期学費計 （9 月） （※ 9）	1 年間の 合計
服飾専攻科	1 年	40,000	360,000	360,000	4,500	764,500	360,000	1,124,500
ファッション 流通専攻科	1 年	40,000	360,000	360,000	4,500	764,500	360,000	1,124,500
ファッション グッズ専攻科	1 年	40,000	360,000	360,000	4,500	764,500	360,000	1,124,500

※ 10）進学金は専攻科への進学の場合に納入する。

進学可能対象学科

服飾専攻科：服装科 2 年修了、服飾研究科修了者の希望者。

ファッション流通専攻科：ファッション流通科 2 年修了者の希望者。

ファッショングッズ専攻科：帽子デザイン科 2 年修了者、ジュエリーデザイン科 2 年修了者、バッグデザイン科 2 年修了者、シューズデザイン科 2 年修了者の希望者。

7 奨学金案内

文化服装学院奨学金 (支給/返還の必要なし)

応募資格	・心身健康、学業優秀で、明確な目標をもち、十分な意欲があること ・学業が特別優秀と認められること ・申請時本学在学中で、翌年度進級・進学予定であること
支給金額	翌年度の年間授業料の半額 (例)服装科2年生の場合：年間授業料半額＝33万円
支給期間	1回限り(毎年申請可能)
募集時期	11月中旬
募集人員	若干名
応募方法	申請希望者は学生課が配信する要項を確認し、学生課で申請を行う。
選考方法	書類審査
採用決定	2月上旬
前年度採用実績	採用12名/申請者42名(進級者6名・進学者6名)

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学生 (支給/返還の必要なし)

応募資格	・新入学予定者(募集時期に入学手続が完了していること) ・アジア諸国(英国国籍は除く)から来日している私費留学生 ・人物・学問ともに優秀で、志操堅実かつ健康である者 ・受給始期からの在籍期間が1年以上の者 ・奨学金授与式に参加できる者 ・在留資格「留学」の者
支給金額	月額6万円、もしくは10万円 *奨学財団の審査により金額が決定
支給期間	月額6万円の場合は1年/月額10万円の場合は1年
募集時期	1月 *1月までに文化服装学院への入学が決定している必要があるため、3期の出願者は応募できません。
募集人員	1名
応募方法	本学外国人留学生入学試験1・2期合格者に対し、文化服装学院学生課より要項を送付。 希望者は要項に従い申請を行う。
選考方法	書類選考
採用決定	3月下旬
前年度採用実績	採用1名/申請者7名

公益財団法人国際協和奨学会 私費外国人留学生奨学生 (支給/返還の必要なし)

応募資格	・学業・人物ともに優秀で、経済的援助を必要とする者 ・日本国内のみならず、外国の政府並びに諸団体からの奨学金を受けていない者 ・国際理解と親善に関心を持ち貢献を期する者 ・在留資格「留学」の者
支給金額	月額12万円
支給期間	最長2年
募集時期	11月
募集人員	1名
応募方法	申請希望者は学生課が配信する要項を確認し、学生課で申請を行う。
選考方法	書類選考、面接
採用決定	3月上旬
前年度採用実績	採用0名/申請者4名

独立行政法人日本学生支援機構 文部科学省外国人留学生学習奨励費 (支給/返還の必要なし)

応募資格	・学業、人物ともに優れ、経済的理由により修学が困難である者 ・2年生以上 ・在留資格「留学」の者
支給金額	月額48,000円
支給期間	1年間
募集時期	4月
募集人員	独立行政法人日本学生支援機構の定めにより、年度により異なる
応募方法	申請希望者は文化服装学院内で行われる奨学金説明会へ参加し、学生課で申請を行う。
選考方法	書類選考
採用決定	6月下旬
前年度採用実績	採用10名 *10月に4月応募の不採用者の中から追加採用を行うことがあります。 *日本留学試験成績上位者を対象に、1年次から奨学金を受給するための予約制度があります。 希望する場合は、文化服装学院入学前に、予約奨学金の申請をした上で日本留学試験を受験してください。

堀田育英財団奨学金 (支給／返還の必要なし)		パル井上財団奨学金 (支給／返還の必要なし)	
応募資格	・国際親善に理解をもち、貢献を期する者 ・2年生以上 ・向学心に富み、学業優秀であり、かつ品行方正である者 ・在留資格「留学」の者	応募資格	・経済的に困難で前途有望な学生。 ・2年生以上
支給金額	月額8万円	支給金額	月額2.5万円
支給期間	最長2年	支給期間	1年間
募集時期	11月初旬	募集時期	5月
募集人員	若干名	募集人員	3名
応募方法	申請希望者は学生課が配信する要項を確認し、学生課で申請を行う。	応募方法	申請希望者は学生課が配信する要項を確認し、学生課で申請を行う。
選考方法	書類選考、面接	選考方法	書類選考
採用決定	2月	採用決定	6月
前年度採用実績	採用1名／申請者2名	前年度採用実績	採用3名／申請者16名

8 在留資格について

留学生が本学に在籍するためには、「留学」の在留資格を取得する必要があります。
入学式までに下記のとおり手続きを済ませてください。

(1) 在留資格「留学」の在留期間の更新

現在、在留資格「留学」で日本に滞在している方が、本学入学前に在留期間を迎えてしまう場合は、入学式までに在留期間の更新手続きをする必要があります。

入学の手続きが完了された方には、「入学許可書」と「在留期間更新許可申請書（所属機関等作成用）」を発行しますので、これらの書類の他、必要な書類を揃えた上で、出入国在留管理庁で在留期間の更新をしてください。

(2) 新規に在留資格を取得する場合

新規に日本に入国する方（日本に在留する在留資格を有していない方）は、本国の日本大使館、領事館等で在留資格「留学」の査証（VISA）発給を受ける必要があります。その場合に、あらかじめ出入国在留管理庁より「在留資格認定証明書」の交付を受けたときは、査証（VISA）発給の審査が円滑に行われるとされています。日本に親族など代理人がいる場合は、出入国在留管理庁に「在留資格認定証明書」交付の代理申請をしてください。

なお、「在留資格認定証明書交付申請」は、文化服装学院が代理で申請を行うこともできます。希望する方は、入学手続後に学務部学生課（連絡先は10ページをご覧ください。）に連絡の上、必要書類を提出してください。

(注)在留資格取得のための審査は出入国在留管理庁が行います。

不交付となった場合に、本学は責任を負うことはできません。

9 就学期間中の在留に関する事項についての注意

(1) アルバイトについて

留学生は、教育を受ける目的で日本での滞在を許可されています。その目的以外の活動（アルバイト等）をする場合には、必ず事前に出入国在留管理庁より資格外活動の許可を受けなければなりません。

また、アルバイトをする場合は次の条件を守る必要があります。

- ①学校での成績や出席率に問題がないこと。
- ②勤務時間が、1週間で28時間以内であること。（長期休暇中は1日につき8時間以内）
- ③アルバイト先が風俗営業または風俗関連業が行われない場所であること。

なお、資格外活動許可申請は、本学が留学生に代わって取次申請を行うこともできます。

(2) 在留期間更新許可申請について

本学では、在留資格「留学」が取得できますが、その期間が終了すると、日本に滞在することができなくなります。期間を超えて本学に在籍する場合は、その期間が終了する前に出入国在留管理庁へ申請し、在留期間を延長する必要があります。

この手続きは、本学が留学生に代わって取次申請を行うこともできます。（条件あり）

10 「専門士」「高度専門士」および就労ビザに関する事項についての注意

「専門士」「高度専門士」は、共通の基準（＊１）をもとに文部科学大臣が認定した専門学校・学科の卒業者に付与されます。

「専門士」「高度専門士」は、専門学校の８分野（工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養）のすべての分野で取得できます。称号授与書には修了した課程や学科名が記載されますので、学習した技術、技能、教養の内容を第三者に提示することができます。

＊１）

1. 修業年限が「専門士」は２年以上。（「高度専門士」は４年以上）
2. 卒業に必要な総授業時間数が「専門士」は１,７００時間以上。（「高度専門士」は３,４００時間以上）
3. 試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っている。

本学では、上記の条件を満たす学科を卒業した際に専門士称号または高度専門士称号を付与されますが、修業年限が１年間の学科に入学（＊２）した場合には、専門士の称号は付与されません。

＊２）服飾研究科へ入学した場合や各課程の専攻科（修業年限１年）に編入学した場合など。

専門士または高度専門士の称号は、日本で働くための在留資格「技術・人文知識・国際業務」へ変更申請をする時に必要な条件の１つです。日本での就労を希望する場合は、専門士称号または高度専門士称号が付与される学科を選択してください。

また、在留資格「技術・人文知識・国際業務」への変更申請の審査では、学習した内容と仕事の内容が一致していることが求められますので、将来希望する仕事の内容に合わせて、学科を選択してください。

なお、専門士称号または高度専門士称号が付与されていない場合も、本国などで「学士」等の学位を取得している場合は、学位の内容に応じた仕事のための在留資格「技術・人文知識・国際業務」へ変更申請をすることができます。

11 お問い合わせ

募集についてのお問合せや出願は、本学の学生課、台北事務所、ソウル事務所、バンコク事務所で行います。

文化服装学院 学務部学生課

〒151-8522
東京都渋谷区代々木3-22-1
TEL +81-(0)3-3299-2216
FAX +81-(0)3-3370-9545
<http://www.bunka-fc.ac.jp>

台北事務所

台湾台北市中正區重慶南路一段57號
4樓之9
TEL +886-(0)2-2375-1951

ソウル事務所

204-1 Skhub Bldg.
461, Samil-daero,
Jongno-gu Seoul, Korea 03147
TEL +82-(0)2-561-6708
FAX +82-(0)2-565-0179
Mail : bunka-kr@naver.com

バンコク事務所

90 Ekamai 12, Sukhumvit 63,
Klongton Nua, Wattana,
Bangkok 10110, Thailand
TEL +66-(0)83-163-8555
LINE : [bunka-thailand](https://line.me/tv/bunka-thailand)

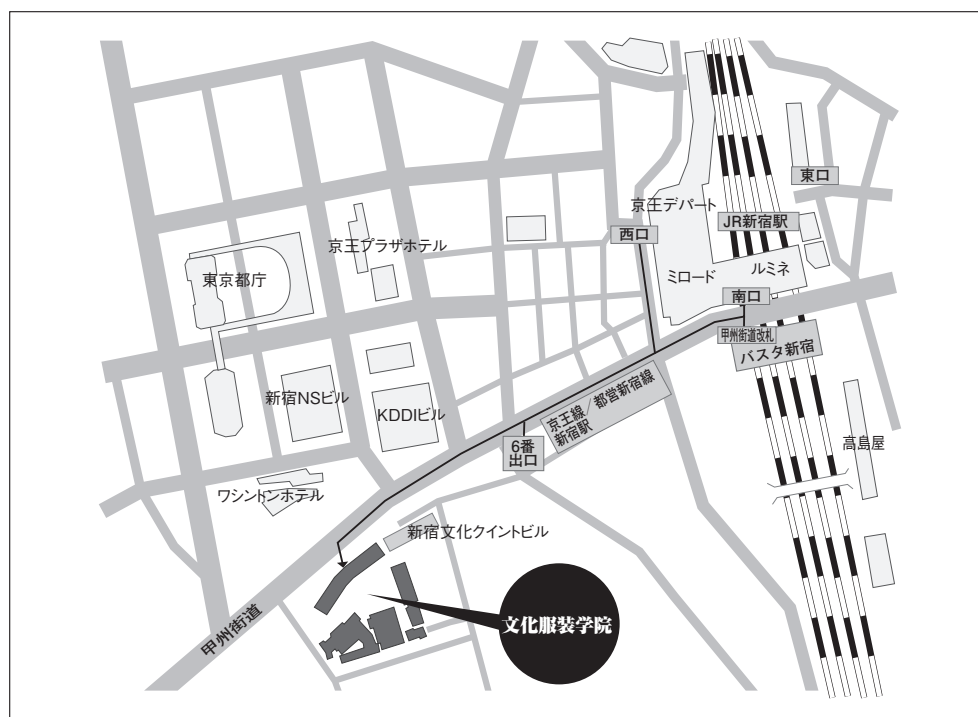
ACCESS

文化服装学院

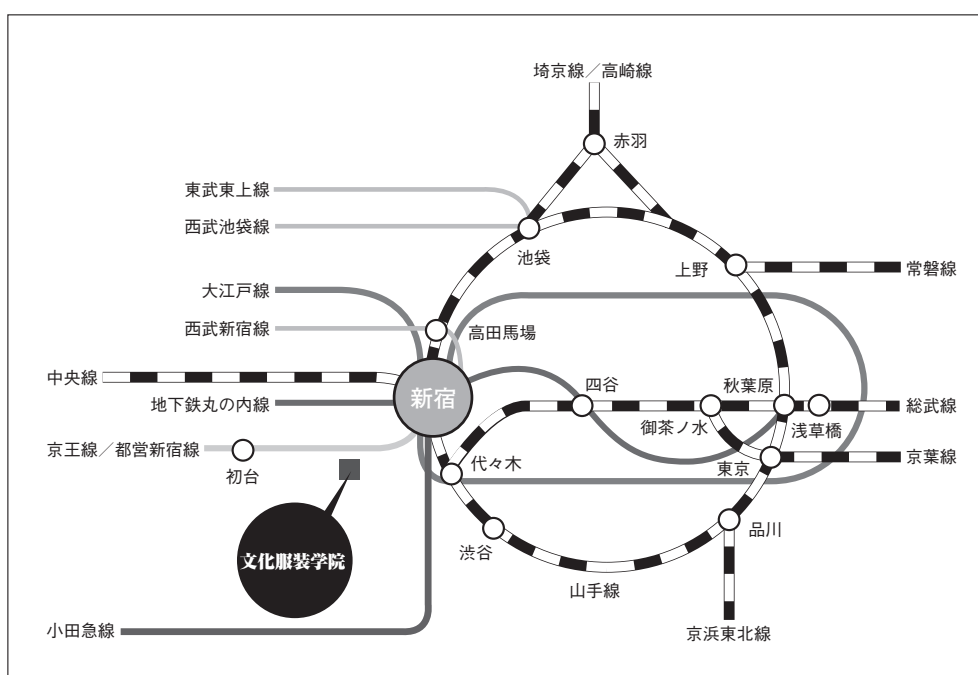
〒151-8522 東京都渋谷区代々木 3-22-1

TEL. 03-3299-2211 (代表) 03-3299-2216 (入学相談)

URL. <http://www.bunka-fc.ac.jp/>



JR「新宿」駅南口、小田急線・京王線「新宿」駅から徒歩 甲州街道を初台方面に7～8分
都営新宿線「新宿」駅から徒歩 3分



The following pages in English do not cover all the necessary information. When applying, please make sure to read all the pages in Japanese.

Qualification for Application

- (1) International applicants must have acquired (or be qualified to acquire) a student visa. An applicant qualified to acquire a student visa must obtain said visa immediately after completing registration.
- (2) Applicants must not be of Japanese citizenship.
- (3) Applicants are required to have completed the 12th year of an accredited school education and/or be qualified to apply for a university by the end of March of the expected year of entrance into Bunka Fashion College. Applicants designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, are also qualified to apply.
- (4) If the applicant has attended a Japanese language school certified by the Ministry of Justice, attendance in said institution should be 80%* or more.
*It is not the number of days, but the number of hours.
*If the applicant attended a Japanese language school with a temporary visitor visa or designated activities visa, the attendance rate cannot be included.
- (5) Applicants must have the ability to understand lectures held in Japanese at Bunka Fashion College. Applicants must fulfill at least one of the following qualifications (①～⑤) by the end of March of the expected year of entrance into Bunka Fashion College:
*If the applicant does not have a student visa, he/she must have fulfilled at least one of the following qualifications (①～⑤) when applying for enrollment.
 - ① Achieve Level 2 (N2) or higher on the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) given by Japan Educational Exchange and Services (JEES) and the Japan Foundation.
 - ② Achieve a score 200 or more on the subject "Japanese as a Foreign Language" in the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU) given by the Japan Students Services Organization (JASSO).
*The test must be taken within 2 years of the submission date of the application.
 - ③ Achieve a score 400 or more on the Business Japanese Proficiency Test (BJT) given by The Japan Kanji Aptitude Testing Foundation.
 - ④ Have studied for 6 months or more in a Japanese language institution certified by the Ministry of Justice.
*This does not apply to applicants who have attended a Japanese language school with temporary visitor visa or designated activities visa.
 - ⑤ Have received at least 1 year of education at a school specified by Article 1 of the School Education Law, which includes primary schools, junior/senior high schools, universities and colleges (full time programs and Japanese language programs) in Japan but does not include kindergarten.
- (6) Applicants must have the financial means to live and study in Japan.

Application Schedule

	Application Documents Submission Period	Exam Date	Results (Shipping Date)	Tuition Payment Deadline
Period I	October 2 (Mon) ~ October 13 (Fri), 2023	November 11 (Sat), 2023	November 20 (Mon), 2023	December 11 (Mon), 2023
Period II	November 13 (Mon) ~ November 24 (Fri), 2023	December 2 (Sat), 2023	December 11 (Mon), 2023	January 12 (Fri), 2024
Period III	January 9 (Thu) ~ January 17 (Wed), 2024	January 27 (Sat), 2024	February 5 (Mon), 2024	February 23 (Fri), 2024

- * Applicants who enrolled in a Japanese language school during the October semester of the year of application cannot apply during Application Period I due to the inability to calculate the attendance rate.
- * Applicants who apply during Application Period III must have a STUDENT VISA at the point of submission of application. Applicants who have a visa other than a student visa must contact the Student Affairs Department by the first week of October.

Application Documents

All required application documents are listed on page 4-5. As noted in the section (5), "Qualification for Application", we require applicants to have a certain level of Japanese skills. Because we do not provide the list of application documents in English, we request applicants to make sure to read all the Japanese pages including page 4-5 in this application guide before applying.

Application Procedure

(1) The application documents must be submitted all together during the designated period. Applicants must directly submit said documents to our staff in the Student Affairs Department at Bunka Fashion College in Tokyo, Japan. Applications will not be accepted after the closing date. All documents required must be submitted in full, and incomplete submissions will not be accepted for any reason.

*The guarantor (=the person named as your emergency contact) may submit the application on behalf of the applicant, if the applicant is not in Japan at that time.

*Applicants in Taiwan, South Korea, and Thailand may submit their application to the offices in their respective countries (in Taipei, Seoul, and Bangkok). Please see the back of the guide for contact information.

(2) Applicants must take the entrance examination on the designated date. The exam will test your Japanese skills. The questions are all in Japanese and must be answered in Japanese. It consists of a paper exam which includes a 400-character written essay (70 mins), listening (20 mins), and a group interview. The level of the exam is equivalent to N2 of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT).

(3) When the applicant is approved to enroll, he/she must pay all fees to Bunka Fashion College's bank account by the designated deadline. (See the table of tuition and other costs.) The Confirmation of Enrollment will be issued after we confirm receipt of all funds.

* The wire transfer must be made in Japanese yen.

* Do not send cash by mail to our office. It will not be accepted.

* If the payment is not submitted by the deadline, it will be considered as a cancellation of enrollment.

(4) Received fees will not be refunded, except for the possibility of the following cases.

- If the applicant cannot successfully get the required visa, the fees will be fully refunded. (Supporting document required.)
- If the applicant completes cancellation of enrollment before the day of entrance ceremony, the fees will be refunded, except for the entrance fee.

School Expenses

Course	Entrance Fee	Tuition for 1 st Semester	Other Fees*	Student's Association Fee	Emergency Supplies Fee	Total Amount of Payment before Entrance	Tuition for 2 nd Semester	Total (First Year)
Garment Creation	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
Intensive Garment Creation	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
Creative Design Advanced Diploma	300,000	400,000	360,000	4,500	5,900	1,070,400	400,000	1,470,400
Foundations of Fashion Technology*The course is divided in to four courses from the second year.	300,000	360,000	360,000	4,500	5,900	1,030,400	360,000	1,390,400
Global Fashion Business Advanced Diploma	300,000	400,000	360,000	4,500	5,900	1,070,400	400,000	1,470,400
Foundations of Styling and Distribution*The course is divided in to five courses from the second year.	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
Fashion Textiles	300,000	360,000	360,000	4,500	5,900	1,030,400	360,000	1,390,400
Millinery Design	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
Jewelry Design	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
Bag Design	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400
Footwear Design	260,000	360,000	360,000	4,500	5,900	990,400	360,000	1,350,400

*Other Fees =Ingredients in Facilities Fee, Training Fee and Teaching Materials Fee

(Currency = JPY)

* Make sure to read all the instructions listed on page 6-7 in Japanese.

* Bunka Fashion College does not offer any reduction of tuition for international students. However, there is a scholarship awarded to one new international student each year. We do not accept applicants who are dependent on scholarships at the point of application.

Caution and Further Information

(1) School term for all students begins in April.

(2) All courses have a capacity limitation.

(3) Please note before submitting your application that your financial status or that of the person who is financially supporting you has prepared the amount which is required to cover not only the course tuition fees but also the living expenses required for the duration of the course you wish to enroll in. We ask that you consider the cost of living in Tokyo when you make your budget. Under the Japanese Immigration Law, it is possible to receive special permission as a student to have a part-time job. However, please do not expect to rely fully on part-time jobs to support you during your stay in Japan.

- (4) In regard to preparation of Student Visa and passport, students themselves, or with help from their Guarantor in Japan, are responsible for the application and all processes involved. The college's administrators can only assist in issuing the Admission Certificate to Bunka Fashion College and Student ID Card.
- (5) For those students who may not yet have the Japanese language ability required to be directly admitted into Bunka Fashion College, though wish to study Japanese language in Japan, we would like to highly recommend Bunka Institute of Languages. This Japanese language institute is situated under the Bunka Gakuen Education Foundation and is located on the same campus as Bunka Fashion College. This language institute is one of the most reliable and well-structured Japanese language schools for foreigners. For further information, please contact us (see information below).

BUNKA INSTITUTE OF LANGUAGE
3-22-1, Yoyogi, Shibuya-ku,
Tokyo, Japan 151-8521
Tel 03(3299)2011
www.bunka-bi.ac.jp/en/

Student Affairs Department

Bunka Fashion College

3-22-1, Yoyogi, Shibuya-ku,

Tokyo, Japan 151-8522

Tel (+81)3-3299-2216 Fax (+81)3-3370-9545

<http://www.bunka-fc.ac.jp>

■ Taipei Office

4F-9, No.57, Sec. 1, Chongqing S. Rd.,

Zhongzheng Dist., Taipei City 10045, Taiwan

Tel (+886)2-2375-1951

■ Seoul Office

204-1 Skhub Bldg. 461, Samil-daero,

Jongno-gu Seoul, Korea 03147

Tel (+82)2-561-6708 Fax (+82)2-565-0179

Mail : bunka-kr@naver.com

■ Bangkok Office

90 Ekamai 12, Sukhumvit 63,

Klongton Nua, Wattana,

Bangkok 10110, Thailand

Tel (+66)83-163-8555